



「真鶴町学校教育あり方検討会」報告書について

☎問い合わせ 教育課 ☎内線 4 3 1

急速な少子高齢化が進む中、真鶴町学校教育あり方検討会では、これからの真鶴町の学校教育のあり方について、令和元年10月から8回に渡り議論していただきました。この7月22日付で報告書（提言）が提出されましたので、その概要をお知らせします。今後はこの提言内容を基に、真鶴町の新たな学校づくりに向けて、具体策を練り上げていくことになります。



報告書全文は
こちらから！

交流と多様性を
キーワードとした

町の未来を見据え、地域課題に向き合える人材の育成をめざして

幼・小・中一貫教育校の実現を！

◆めざすべき真鶴町の子ども像とは…

- 多様性を尊重できる子
- 関わる力をもった子
- 発信する力をもった子
- 心の豊かな子
- 創り出す力をもった子
- ふるさとを大切にする子

◆そのために重視すべき教育活動とは…

【幼児期】

- 幼児一人一人のこだわりや好きなことを大切に活動
- 「自分でできること」を大切に、自己有用感を育てる保育・教育の展開
- 活動の中で思いやりや優しさを大切に活動
- 基本的自尊感情を育む保育・教育の展開
- 真鶴町の自然や伝統・文化を生かした活動
- 地域の大人との関わり合いを大切に活動

【小学校・中学校期】

- 学び合いの教育
- 新たな取り組みを創り出す創造性と、粘り強く取り組み実現する力を育む教育
- 小規模校化に対応する社会力を育成する教育
- 体験的活動を重視した教育とICTを活用した教育
- 情報的的確に処理・活用し、自己の意思を発信する教育
- コミュニケーションを重視した外国語教育
- 心の豊かな子を育む命の教育（学校教育・家庭）
- ふるさと教育の見直しと充実（学校教育・社会教育・地域・家庭）

●望ましい学校教育の姿とは… 施設隣接型または一体型の幼・小・中一貫教育校

【類型】

- ・施設分離型
- ・施設隣接型
- ・施設一体型
- ・義務教育学校

【主な効果】

- ・集団の規模が確保される。
- ・系統的な教育課程の編成が可能となる。
- ・教科担任制が導入しやすい。
- ・小1プロブレムや中1ギャップの解消が期待できる。
- ・幼小中の相互理解が深まる。

【主な課題】

- ・人間関係の固定化が進む。
- ・節目を迎える機会が失われる可能性がある。
- ・いじめが深刻化する心配がある。
- ・小中の教員免許を併有する教員が少ない。

【課題への主な対策】

- ・良さを認め合う活動の実施
- ・責任と自覚を育む機会の創出
- ・気軽に相談できる体制の確立
- ・制度の見直し

※中学校の完全給食の実施に向けては… 新たな校舎の建設に合わせた検討が妥当

園舎・校舎の長寿命化計画

- ◇ひなづる幼稚園 … 長寿命化に適さない。
- ◇まなづる小学校 … 長寿命化に適さない。
- ◇真鶴中学校 … 長寿命化に適さない。
- ⇒老朽化により3施設とも2030年代半ばから後半に建て替えが必要となる。
- 「真鶴町学校施設個別施設（長寿命化）計画」（令和3年3月：真鶴町）より

給食施設の概算整備費（初期投資）

- ◇自校方式 … 4億 521万3千円
- ◇センター方式 … 8億841万1千円
- ◇親子方式 … 2億363万5千円
- ⇒唯一校舎建て替えの影響が出ないセンター方式では約9億円の費用がかかる。
- 「令和3年度真鶴町中学校給食実施計画調査報告書」（令和3年9月：真鶴町教育委員会）より

●実現に向け今後取り組むべき主な内容は…

- ・新校舎建設や校舎解体等にかかる財源の確保
- ・施設の類型や建設場所の決定（敷地面積や立地条件、登下校の安全対策等）
- ・高齢者施設や防災拠点施設などを併設した複合施設とするかの検討 ほか

* 報告書は役場、町民センター、情報センター、まなづる図書館に配架されています。

